

常陸太田市と地域連携協定を締結

人文学部は、7月24日に常陸太田市と地域連携協定を締結した。

その連携事業は、(1) 地域特性を生かした産業の振興とまちづくりの推進、(2) 地域の発展に寄与する人材の育成、(3) 人的交流の促進による地域コミュニティの活性化、(4) 地域の政策課題に関する共同研究の推進、(5) その他地域連携推進に必要な事項、の5つである。

記者会見で、「地域連携協定を締結する理由は何か?」との質問に対して、常陸太田市大久保太一市長は「地域は若い学生が活動しているのを見るだけでも元気になる。人文学部との地域連携を深めることで、少子高齢化、過疎化に伴う様々な地域課題を改善していきたい」と抱負を述べた。人文学部伏見厚次郎学部長は「これまでの地域連携活動は教員個人の活動が多かったが、これからは組織的に対応し、持続可能な活動にしていきたい。そして、学生と教員が地域社会の現場で地域課題を考える機会を増やしていきたい」と述べた。

地域連携活動の内容と質を高め持続可能なものにしていくためには、組織的対応を支える学生と教員一人一人の「学習・教育力」、「研究力」、「地域課題解決力」をより一層向上させる必要が不可欠であることを再確認した。



「常陸太田市と地域連携協定を締結」(中央左、常陸太田市市長)



「協定に署名する伏見学部長」